

佐々木しげみつ県政報告会

令和元年11月30日



■ ごあいさつ ■

向寒の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様のご支援のもと、3期目の県議会活動に入ることが出来ましたこと心から御礼申し上げます。

さて、陸前高田を見ると、街並みの再生、高台造成地への住宅再建、そして追悼祈念公園をはじめ松原周辺の整備。

住田町に目を移すと340号（高田街道）の拡幅改良工事。そして三陸沿岸道の延伸…と、目に見える形での復興は着実に進んでおります。

しかし、その一方で、約4兆8千億円が投じられた復興事業の「進捗率と実感度」「巨額な投資と生活の実態」の開きを感じざるを得ません。

気仙川を眺めながら「川上、川下は繋がっている」、そんな思いを巡らしながら、8年前の「あの日あの時」を乗り越え、これから先の陸前高田市、住田町を見据えた道を切り開く地方自治のあり方を模索していく必要を感じています。

今まで以上に「復興完遂」「地方創生」という「我らが声」を国政、県政に届けて参ります。今後とも、ご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

